

Akashi College		Year	2018	Course Title	英語 V		
Course Information							
Course Code	0089	Course Category	General / Compulsory				
Class Format	Lecture	Credits	Academic Credit: 2				
Department	Architecture	Student Grade	5th				
Term	First Semester	Classes per Week	2				
Textbook and/or Teaching Materials	Science in Our Daily Life (Seibido)						
Instructor	MATSUDA Yasutaka						
Course Objectives							
(1) 英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力をつける。 (2) 付属CDを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかる。 (3) 現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につける。							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力を十分に身につけることができる。	英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力をつけることができる。	英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつけるとともに必要な語彙力をつけることができない。				
評価項目2	付属CDを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上を十分にはかることができる。	付属CDを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかることができる。	付属CDを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかることができない。				
評価項目3	現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を十分に身につけることができる。	現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につけることができる。	現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につけることができない。				
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (E)							
Teaching Method							
Outline	グローバル化時代の技術者として必要な英語力をつけるために、英語の語彙力や読解力を向上させる。また、読解に必要な構文や文法の知識を身につける。						
Style	毎時間、語彙力の確認テストを実施する。英文を読んで、その内容の理解を確認する演習問題を解く。CDを用いてリスニング力をつける。既習事項を参考に英作文の練習をする。適宜、課題を課す。						
Notice	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。前もって配布された課題を確実にやってから授業に出ること。日々の自宅学習によって英語力の向上に努めること。理由なき遅刻や欠席で受験できなかった小テストは0点扱いとする。合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
Course Plan							
			Theme	Goals			
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション、Unit 1 Phone Dirt Reveals Personal Data	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		2nd	Unit 2 Driverless Buses	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		3rd	Unit 3 Stealth Keys	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		4th	Unit 4 Unfamiliar Sources of Energy	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		5th	Unit 5 Delivery by Drone	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		6th	Unit 6 Uber and its Future	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		7th	Unit 7 Convenience Stores in Japan	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		8th	中間試験の実施				
	2nd Quarter	9th	中間試験の返却 Unit 8 Learn English with a Robot	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		10th	Unit 9 Noise Level and Disease	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		11th	Unit 10 Reading Faces	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		12th	Unit 11 Meditation and Sports	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		13th	Unit 12 Digital Disabilities	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		14th	Unit 13 Euglena Dietary Supplements	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		15th	Unit 18 When Do We Become "Old"?	各Unitの英文について理解し、適切に運用することができる。			
		16th	期末試験				
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	60	0	0	10	0	30	100

基礎的能力	60	0	0	10	0	30	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0